

過活動膀胱治療剤

コハク酸ソリフェナシン
solifenacin succinate

ベシケア（アステラス）：錠 2.5mg, 5mg

【**適応（効能・効果）**】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁

【**用法・用量**】5mg を 1 日 1 回投与，1 日最大 10mg まで

【**薬効薬理**】ムスカリン受容体拮抗作用，用量依存的膀胱容量及び排尿量増加作用，膀胱過緊張状態抑制作用，過活動膀胱における尿意切迫感，頻尿及び切迫性尿失禁改善作用

【**薬物動態**】（5 mg 投与）Tmax：5.5 時間， $T_{1/2}$ ：3.8 時間，食事の影響なし，（高齢者）Cmax 及び AUC 増加， $T_{1/2}$ 延長（腎機能障害，肝機能障害）AUC 高値

【**薬物代謝**】蛋白結合率：96% 主として CYP3A4 代謝，一部 CYP1A1，2C8，2C19，2D6 及び 3A5 並びにグルクロン酸抱合酵素も代謝に関与，尿中 69.2%

【**禁忌**】①本剤過敏症 ②尿閉 ③閉塞隅角緑内障 ④幽門部，十二指腸又は腸管閉塞及び麻痺性イレウス ⑤胃アトニー又は腸アトニー ⑥重症筋無力症 ⑦重篤な心疾患 ⑧重度の肝機能障害

【**慎重投与**】①下部尿路閉塞疾患（前立腺肥大症等）②潰瘍性大腸炎 ③甲状腺機能亢進症 ④肝機能障害 ⑤認知症又は認知機能障害 ⑥パーキンソン症状又は脳血管障害 ⑦高齢者

【**併用注意**】①抗コリン剤，三環系抗うつ剤，フェノチアジン系薬剤，

モノアミン酸化酵素阻害剤→口内乾燥，便秘，排尿困難等：抗コリン作用増強 ②アゾール系抗真菌剤（イトラコナゾール，フルコナゾール，ミコナゾール）→口内乾燥，便秘，排尿困難等：CYP3A4 阻害により本剤血中濃度上昇 ③リファンピシン，フェニトイン，カルバマゼピン：本剤の作用減弱→CYP3A4 誘導により本剤の血中濃度低下

【**重大な副作用**】①AST，ALT， γ -GTP，ALP，総ビリルビン↑（各 0.1～5%未満）等→中止 ②尿閉（頻度不明）→中止 ③（類薬）急性緑内障発作，麻痺性イレウス，幻覚・せん妄，QT 延長，心室性頻拍，房室ブロック，徐脈等→中止

【**副作用**】口内乾燥（28.3%），便秘（14.4%），霧視（3.3%），BUN 上昇（2.1%），尿沈渣陽性（1.9%）など

【**特記事項**】①中等度の肝機能障害，または重度の腎機能障害（クレアチニンクリアランス 30ml/min 未満）：1 日 1 回 2.5mg から開始 ②高所作業，自動車の運転等危険を伴う作業は注意：眼調節障害（霧視等）